

常磐公園植栽計画

市民ワークショップ (第5回)

平成27年3月6日(金)
旭川市 旭川市職員会館 2階 2号室

主催：旭川市

0. 本日のプログラム

- ・ 18:30 開会・挨拶 (5分)
- ・ 18:35 オリエンテーション (5分) 現在
- ・ 18:40 資料説明 (10分)
- ・ 19:00 全体討議 (55分)
- ・ 19:55 挨拶 (5分)
- ・ 20:00 閉会

1. オリエンテーション

- 1-1 ワークショップの目的
- 1-2 ワークショップの全体スケジュール
- 1-3 前回ワークショップの振り返り
- 1-4 前回ワークショップで出た意見①
- 1-5 前回ワークショップで出た意見②
- 1-6 今日の進め方

1. オリエンテーション

1-1. ワークショップの目的

常磐公園のみどりをより良くして
行く方法を考える。

将来の常磐公園を考え…

どんなみどりを復元するため

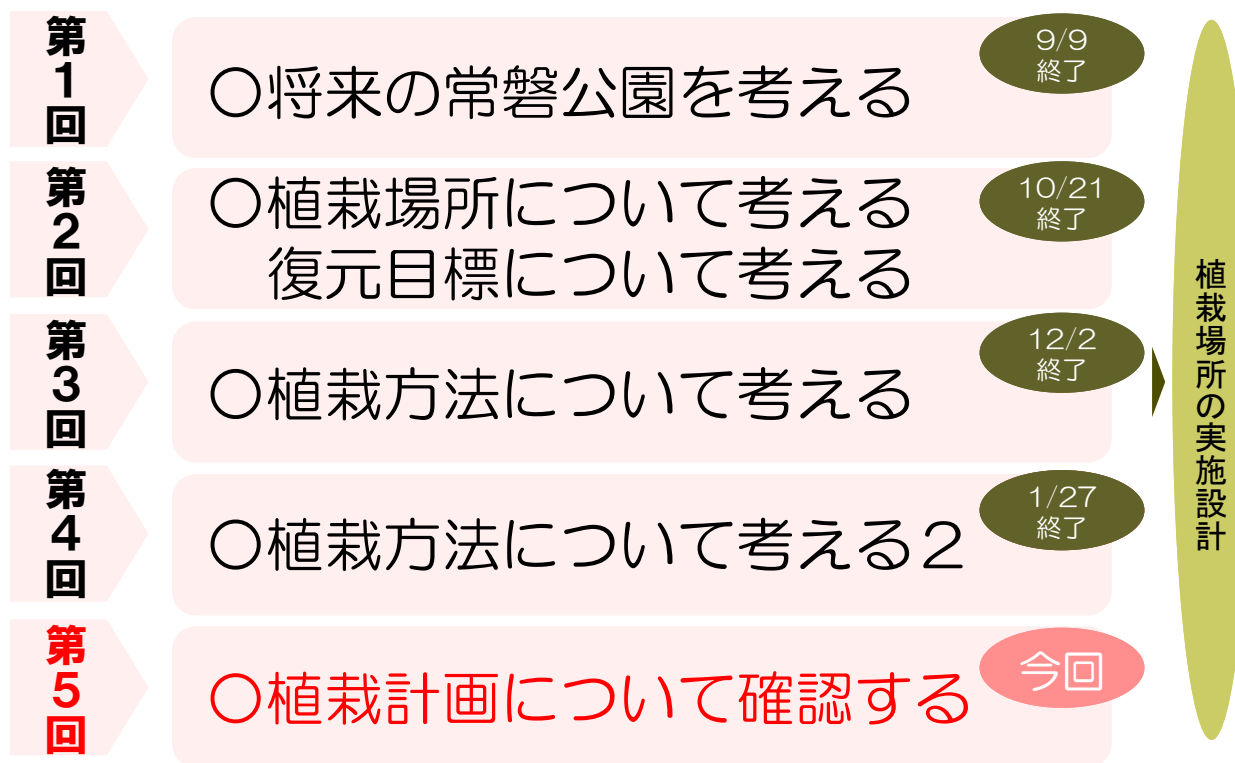
どこに、
どんな樹種を、
いつ、
どうやって植えるか。

植栽計画

について考える。

1. オリエンテーション

1-2. ワークショップの全体スケジュール



1. オリエンテーション

1-3. 前回ワークショップの振り返り

日時 : 平成27年1月7日(火) 18:30~20:00

会場 : 旭川市保健所1階講座室

参加者 : 地域住民 14名、 専門家 3名、
事務局 7名、 傍聴者5名 計29名

討議テーマ: 植栽平面図(修正案)について

1. オリエンテーション

1-4. 前回ワークショップで出た意見①

- 花があって季節を感じる計画になった。
- 全体にバランスの良い計画になった。
- 花壇については市民参加促進のため計画したが、全体の調和を考慮した場合は無くてもいいと思う。目線に近い位置にあるためその点ではいい。
- 常緑樹をもう少し増やしてはどうか。
- 植栽直後はさびしいのではないかと、断面図など立体的に見たい。
- ヤナギの種は、周囲の樹林エリアに入ってくるがそれも残すのがよい。
- ドロノキは倒木の危険があるので、安全面に配慮して欲しい、安全第一に考えて欲しい。
- 法面を盛土する土の確保は大丈夫か、市内or周辺から持って来てほしい。
- 花粉症の問題がありシラカンバの植栽は検討が必要。
- 対立する点の議論が参加者で十分にされていないのでは、後にこんなはずでは・・ということにならないかが心配、進行がやや拙速。
- 本計画地が先に決まってしまう、他の広大な場所が「決まってしまった場所」に合わせて計画しようとした時に制限されてしまわないかが心配。
- 公園全体をどうするのか？という視点で考えて欲しい(そういう機会を設けて欲しい)。

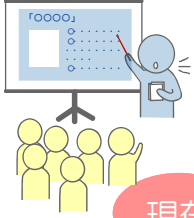

1. オリエンテーション

1-5. 前回ワークショップで出た意見②

- 修正案は100点満点ではないが概ね評価できる。
- 多様な樹種を植えているのが評価できる。
- サクラは散らした配植で良い。
- サクラはチシマザクラを入れてはどうか、シウリザクラも良い。
- 全部が成長したとすると、樹冠がやや混みすぎている。
- 樹冠の大きさの設定に多少違いがあるように思う。
- 苗木の高さ(3m程度)は、もう少し大きい方が良いが費用はかかる。
- 40~50年後に新たに更新することを明記してはどうか。
- 自然更新ゾーンは、ハルニレ等の生長過程を観察できるゾーンとして良い。
- 公園全体の樹木本数を半分位にしてはどうかという考え方もある。
- 生態系は自然発生的に後から付いてくるもので、最初から狙って作るのは難しい。
- 樹冠の重なりや階層構造をより分かりやすく理解できるように、立体的に樹木の形成過程を見せて欲しい。

1. オリエンテーション

1-6. 今日の進め方

5分 オリエンテーション	20分 説明	55分 意見交換		総括
18:35~18:40	18:40~19:00	19:00~19:45		19:55
<p>今日の ・目標 ・進め方 の説明</p>  <p>現在</p>	<ul style="list-style-type: none">・事前にいただいた御意見と回答・植栽計画(案)・修正点について説明	<p>全体で意見交換</p>  <ul style="list-style-type: none">・植栽計画(案)・調整が必要な意見について	<p>全体で意見を取りまとめ</p> 	<p>今後の予定等</p>

2. 植栽計画(案)について

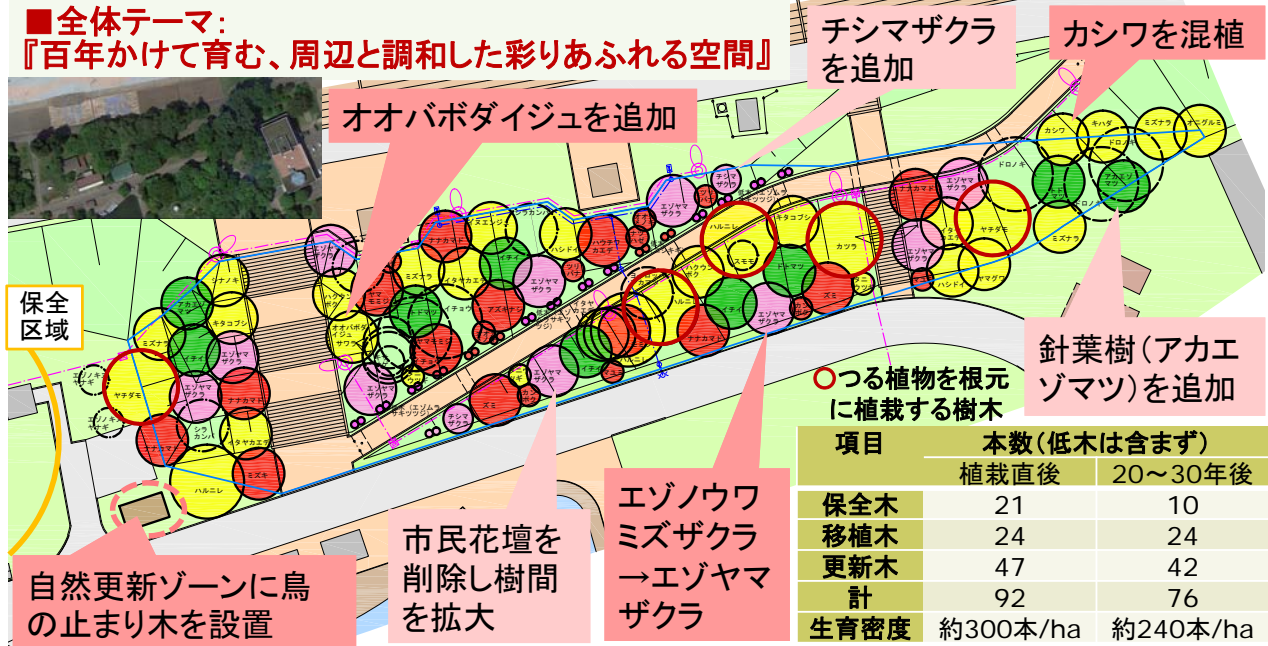
- 2-1 植栽平面図(再修正案)
- 2-2 植栽樹種(再修正案)
- 2-3 植栽イメージ①
- 2-4 植栽イメージ②
- 2-5 法面緑化
- 2-6 調整が必要な意見

2. 植栽計画(案)について

2-1. 植栽平面図(再修正案)

○素案についての意見(別紙)を踏まえて修正

■全体テーマ:
『百年かけて育む、周辺と調和した彩りあふれる空間』



項目	本数(低木は含まず)	
	植栽直後	20~30年後
保全木	21	10
移植木	24	24
更新木	47	42
計	92	76
生育密度	約300本/ha	約240本/ha

※植栽後20~30年程度経過し、保全木のうち危険木や外来樹種、生長の早い樹種を除去した状況

2. 植栽計画(案)について

2-2. 植栽樹種(再修正案)

	保全木	移植木	新植
基調樹種	ハルニレ/ヤチダモ/カツラ/ドロノキ/イタヤカエデ/イチョウ/ヨーロッパアカマツ	ハルニレ/ヤチダモ/ミズナラ/イタヤカエデ	トドマツ/カシワ/シナノキ/オオバボダイジュ/キハダ/オニグルミ 【生長の早い樹種】 シラカンバ/ヤナギ類
添景樹種	【高木】 イチイ/エゾヤマザクラ/モミジ/サワラ/キササゲ/スモモ	【高木】 イチイ/ナナカマド/ズミ/ヤマグワ/ハシドイ 【中木】 ツリバナ	【高木】 エゾヤマザクラ/チシマザクラ/アズキナシ/キタコブシ/ハクウンボク/ミズキ/ヤマモミジ/ハウチワカエデ/イヌエンジュ/ 【中木】 タニウツギ/オオカメノキ/カンボク/ナツハゼ/マユミ
その他	エゾノウワミズザクラ、ムラサキヤシオを削除 チシマザクラ、カシワ、オオバボダイジュを追加		【低木】 エゾムラサキツツジ/ニシキギ 【つる】 ツルアジサイ/イワガラミ/ツルマサキ

※青字は旭川における外来種

2. 植栽計画(案)について

2-3. 植栽イメージ①

○南西から北東方向



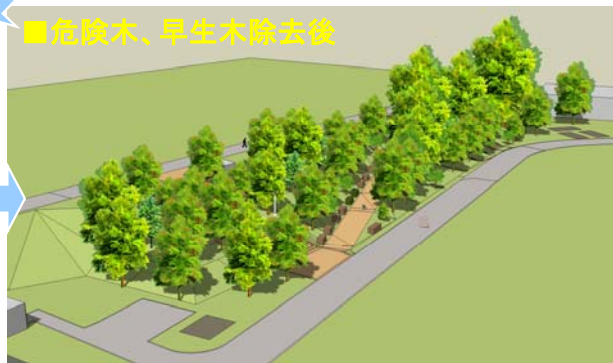
■植栽直後



■20~30年後



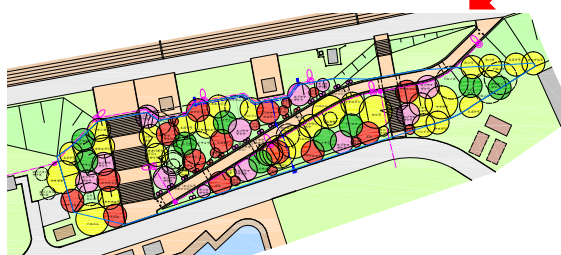
■危険木、早生木除去後



2. 植栽計画(案)について

2-4. 植栽イメージ②

○南西から北東方向



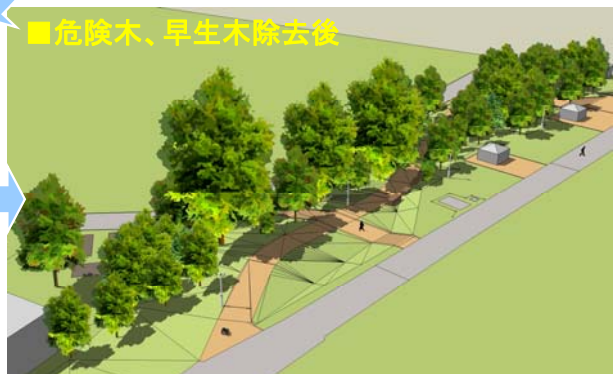
■植栽直後



■20~30年後






■危険木、早生木除去後



2. 植栽計画(案)について

2-5. 法面緑化

	芝生（種子吹付）	在来種草地（種子吹付）	待ち受け型（植生シート）
内容	芝草種子を吹き付ける。主に堤防、園地等で用いられる。	道内産在来種の草本種子を吹き付ける。主に山間等の緑化に用いられる。	タネなし植生シート等を敷設する。主に山間等の緑化に用いられる。
導入種	ナガハグサ、ハイウシノケグサ等外来種	オオヨモギ、エゾヌカボ、ススキ等道内産在来種	自然侵入
長所	軟らかく歩きやすい。早期に緑化ができる。	在来種が優占する。配合により多様化が図れる。	周囲との調和が図れる。多様性が高い。
短所	外来種が優占する。多様性が低く単調となる。栄養分の要求量が高い。	草丈が高い種類が多い。茎が立ち歩きにくい。品質のバラツキが大きい。外来種も侵入してくる。	定着までの期間、法面侵食の危険性が高まる。堤防周辺だと外来種中心の草地が成立しやすい。
コスト	約500円/m ²	約700~1,200円/m ²	約1,500円/m ²
イメージ			 ※植栽直後 地域生態系の保全に配慮した法面緑化工の手引き (国総研, 2013)

2. 植栽計画(案)について

2-6. 調整が必要な意見

	意見	現在の計画案
危険木	A 安全の面からも大木は伐った方が良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に保全 ・ 周辺は立入禁止 ・ 枯枝は除去
	B 利用する動物に配慮して保全すべき	
針葉樹	A 使用して欲しくない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 82本中13本植栽（保全木、移植木含む。植栽当初。）
	B もう少し増やして欲しい	
シラカンバ	A 花粉症の問題があり検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 82本中3本植栽（〃） ・ イネ科花粉ほど影響は大きくないとの意見あり。
	B 成長を考慮して生長の早い樹種も入れる	
つる植物	A 樹木に害があり導入しない方が良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツルアジサイ、イワガラミ、ツルマサキを植栽。 ・ 20本植栽（5本の保全木周辺に4本ずつ。）
	B アクセントをつけるため導入して欲しい 多様性の観点からも少しあってもよい	
外来種	A 花壇などの花で彩りをつける	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種は使用せず（移植木、更新木）
	B 外来種は使用せず郷土種を植栽して欲しい	
移植木	A 費用がかかるため新植を増やした方が良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24本を移植（当初予定30本）
	B 早期緑化を図る（これまでの方針）	

3. 意見交換してほしいこと

植栽計画第5回市民ワークショップ 討議事項

- 植栽計画（素案）について
- 調整が必要な意見について
- その他の意見